

まちづくり情報館

地域の活動は、市民自治の出発点。今回は、厚別区でまちづくり活動を行うために新たにできた「場」を紹介します。

まちづくりの拠点「あつまちルーム」

昨年10月、北星学園大学と株式会社札幌副都心開発公社、厚別区役所の三者は、連携してまちづくりを進めていくために協定書を締結しました。4月には、これをきっかけに三者がさらに連携し、まちづくりの発信拠点となる活動の場として、duo-2内に「あつべつまちづくり連携・協力コミュニティルーム（通称：あつまちルーム）」を設置しました。

あつまちルームは、三者が協議の場として使用するほかにも、あつべつ区民協議会の活動の場や三者が協力したイベントにも活用しています。

北星学園大学が実施した公開講座、「まちづくり入門講座～地域連携によるまちづくり」もその一つです。受講者に合ったまちづくりを見つけて

▼あつまちルーム外観



▲まちづくり入門講座の様子



使用例▶

もらおうと企画されたこの講座には、同大学の教授ら5人の講師がそれぞれの専門知識や経験を生かし、事例を交えた地域連携について講義を行いました。

まちづくりの拠点「あつまちルーム」から、市民によるまちづくりが広がっていきます。

あつまちルームの利用について

区内でまちづくり活動を行う団体に無料で貸し出しています。詳細はお問い合わせ下さい。

▷所在地：厚別中央2の5 duo-2 4階
▷備品：机、イス、ホワイトボード、プロジェクターなど

※対象となる団体については以下にお問い合わせ下さい

申込先・詳細 地域振興課 ☎ 895-2400 内線 252

キトリ線

厚別区誕生20周年企画

厚別 図鑑 vol.2 厚別南



「厚別ぶち図鑑」の世界へようこそ！

各地区の歴史を6回にわたって振り返ります。6枚集めて合わせるとステキな図鑑に大変身。

厚別南地区は、かつて大谷地周辺が水田地帯、上野幌周辺が酪農地帯として発展していました。

陽だまりロード（白石サイクリングロード）は廃線になった旧千歳線跡にできたもので、JR北広島駅まで続いています。

陽だまりロード

かつてD51型蒸気機関車も走っていた旧千歳線の廃線跡を利用して、1974年につくられた。



▲旧千歳線の線路



▲できた当時の陽だまりロード

参考文献：あつべつ区再考、下野津幌郷土史
写真提供：札幌市写真ライブラリー、橋本修さん

大谷地

大谷地は、低湿地帯の特性を生かし豊かな水田地帯だった。



▲水田が広がる大谷地／1940年ころ

立花

国道274号とJR千歳線が交差する場所は、立花と呼ばれ広島街道の中間の休み場として栄えた。



▲立花／1889、90年ころ

上野幌

大正から昭和にかけて、宇納牧場や星子牧場などが開設。酪農先進地だった。



宇納牧場／1927年ころ

→次回は、「厚別西地区」



キトリ線

